

中東イスラエルで行われた「寿司コンテスト」

キッコーマンでは、日本の食文化、日本食の魅力を伝える啓蒙活動の一環として、中東のイスラエルで寿司コンテスト「Kikkoman Sushi Master Contest」を開催しています。第3回目となった2012年12月に開かれたコンテストは、首都テルアビブのオーシャン・イベント・ホールで行われ、会場には一般消費者とメディア関係者を含め約500名が来場しました。28組にのぼるプロの料理人からの応募があり、実際に会場で各人が創意工夫をこらした寿司を作り、腕を競いました。審査員には、イスラエル農水大臣、在イスラエル日本大使及び業界関係者、審査委員長には、江戸懐石近茶流嗣家 柳原尚之氏を迎え、盛大に行われました。

イスラエルは全人口が700万人と決して多いわけではありませんが、中東の国々の中でも、日本食、とりわけ寿司のファンが多く、寿司メニューがあるレストランは300軒を超えと言われています。

優勝者 Meidan Sibony (メイダン・シボニー)さん



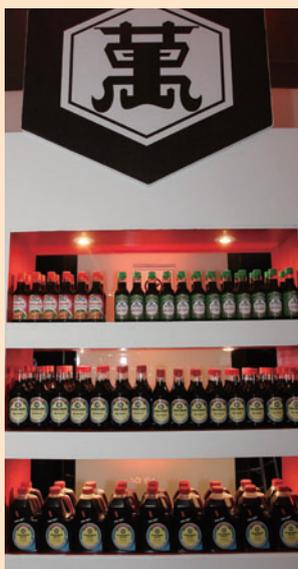
柳原尚之氏による審査講評



レセプション会場でのキッコーマン製品を使ったレシピの試食



特別室での審査



会場に陳列されたキッコーマン製品



優勝作品



開始の合図とともに一斉に調理に取りかかる参加者